ワクワクドキドキ。新入学おめでとう！

市内小・中学校合わせて438人が新入学

阿蘇小学校での校歌斉唱の様子。体育館に新しい校歌が響き渡りました。

阿蘇市内の各小・中学校で4月9日、入学式が行われ、小学生206人、中学生232人が新入学を迎えました。

碧水、乙姫小が統合して新たに開校した阿蘇小学校では、43人の児童が入学。緊張した面持ちで体育館に入場すると、在校生や保護者らから温かい拍手で迎えられました。

式では、原山昭信校長が「皆さんが入学してくるのを皆で楽しみにしていました。皆さんが入学したので、今日が全員そろっての阿蘇小学校のスタートです。」と、祝辞を述べました。

❶入場時の様子。在校生から祝福の拍手で迎えられました。　❷児童を代表して伊藤照太さん（右）と藤本紗葵さんが「たくさんお話して、たくさん遊んで仲良くなりましょう。小学校には優しいお兄さんお姉さん、先生方がいます。困ったことがあったらなんでも相談してください。」と歓迎の言葉を述べました。

●新入学児童・生徒数

学校名	新入学児童・生徒数	全児童・生徒数
宮地小学校	59	395
坂梨小学校	10	72
古城小学校	4	61
阿蘇小学校	43	265
阿蘇西小学校	19	103
尾ヶ石東部小学校	8	53
内牧小学校	51	334
山田小学校	2	48
波野小学校	10	63
（小学校）計	206	1,394
一の宮中学校	79	261
阿蘇中学校	138	413
波野中学校	15	43
（中学校）計	232	717

●寄贈品一覧

寄贈品	寄贈元
傘	阿蘇ライオンズクラブ
帽子	阿蘇一の宮ライオンズクラブ
交通安全腕章	阿蘇市
防犯ブザー	株式会社キューネット
ワッペン	みずほフィナンシャルグループ他
防犯笛	日本マクドナルド株式会社
文具セット	阿蘇地区防犯協会連合会・阿蘇警察署
交通安全用品	熊本県トラック協会
防犯ブザー	阿蘇警察署

朝ごはんを求めて大盛況！

災害で休止の阿蘇マルシェが復活

放送中!! Web TV ASO

昨年の九州北部豪雨災害の影響で、開催が見送られていた阿蘇マルシェ（阿蘇市民農園ネットワーク協議会主催）が4月7日、約9か月ぶりに再開しました。当日は悪天候により、急きょ会場を旧乙姫小学校に変更しての開催となりましたが、この催しの目玉である「朝ごはん」や阿蘇の特産品を目当てに多くの観光客が訪れ会場は賑わいを見せました。

朝ごはんを振る舞った、阿蘇料理維新の会会長の漆原宏氏は「マルシェが盛り上がってきた時にあの災害があり、メンバーの多くが被災し一度は諦めかけたが、メンバーの熱い気持ちで復活することができた。今後は阿蘇市全体でもっと盛り上げていけるイベントになれば」と、話していました。

朝ごはんのテーマはその名も「the 復活」。1食1,000円の朝ごはんは限定数100食を超える注文があり大盛況。八代市から朝5時に出発してきたという家族（写真下）は、「以前から楽しみにしていた」と、料理を堪能していました。他にも「阿蘇の味を感じられる。何度でも来たい」という声も聞かれました。

会場では、阿蘇の食材の香りが体育館中に漂っていました。阿蘇マルシェは、毎月第一日曜日に農村公園あぴか（雨天時は旧乙姫小体育館）で開催しています。ぜひご来場ください。

道の駅波野に電気自動車用急速充電器

㈱本田技術研究所が寄贈

株式会社本田技術研究所は、阿蘇地域の電気自動車用急速充電器の充実を図るため、道の駅波野「神楽苑」に電気自動車用急速充電器1基を寄贈しました。

これは、熊本県と本田技研工業株式会社が締結した、「実証実験に関する包括協定」の一環として寄贈されたもので、本田技術研究所の新井康久専務は、「今回の設置で、電気自動車を利用する方々の行動範囲も広がる。たくさんの方々に利用してもらいたい」と話しました。

20分ほどで急速充電ができるこの充電器は、道の駅波野の営業時間内（8時～18時）に限り無料で利用できます。

坂梨八十八箇所を地域おこしに

石仏調査が進められています

一の宮町坂梨地区に点在する、坂梨八十八箇所の石仏調査が進められています。調査しているのは、市の文化財保護委員を務める中川竹久さん。

現在までに、53箇所の石仏が発見されており、地元の方にもその存在を知ってもらおうと4月13日、最近発見された場所を含む3箇所の石仏を巡りました。

浄土寺牧から南東の崖下に、昨年の災害を免れ祀られている石仏を見学した参加者は「こんな場所に祀られているなんて」と、驚きをを隠せない様子でした。

石仏の修復や環境整備も進められており、中川さんは「今後も点在する石仏を調査し、石仏文化を守り、後世に伝えながら地域おこしに活用したい」と、意欲を語りました。

1四十二番の石像が祀られている浄土寺牧付近の険しい山道を登る参加者たち。昨年の災害で木々がなぎ倒されており、必死で崖下まで登りました。
2今回、新たに解明した二十一番の石仏。この付近には二十二番の石像も祀られています。

寄贈された苗木を復興のシンボルに

第38回ふれあいグリーンキャンペーン

㈱熊本トヨペットは、緑化活動の一環として実施する第38回ふれあいグリーンキャンペーンで、古城4区「古城ヶ鼻花の会」（志賀秀一会長）へ苗木を贈呈し4月4日、市役所で贈呈式が行われました。

この事業は、環境保全・緑化活動を目的に、同社が昭和62年から県内の植栽活動をする団体に寄贈されているもので、今回、災害の被害が大きかった同会へ、ソメイヨシノなど150本を贈呈。緑の大使を務める2013ミス・インターナショナル日本代表の高橋有紀子氏から手渡されました。

苗木は、会の皆さんが黒川堤防沿いや城山展望所付近に植樹。志賀会長は「植栽により、観光客や地元住民の憩いの場になれば」と、期待を寄せています。

放送中!!
Web TV ASO